

労福協ガイド

● 連帯と協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現 ●



一般社団法人 大分県労働者福祉協議会

すべての働く人の幸せと豊かさをめざして！



1960年2月、大分県内において労働者福祉を増進すべく結成された大分県労働者福祉協議会（以下、大分県労福協）は、社会的な信用と認知度を高めるために、2010年4月に一般社団法人となりました。

こうした中で、2019年1月、国内初の感染者が確認されて以降、3年を超える長きに亘ったコロナ禍や急激な物価高騰は、私たちの日常生活はもちろん、経済・社会へ甚大な影響を与え、これまで潜在化していた問題・課題を顕在化させました。とりわけ、社会的弱者に多大な影響を与え生活困窮者が拡大・深刻化、コロナ禍以前から続く格差を更に拡大・加速化させました。

日本社会の脆弱さが露呈した今こそ、すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、労働者福祉運動の原点である「共助の輪」の拡大を図り、支え合い・助け合いを地域に根付かせるための取り組みが求められます。

大分県労福協は、これまでの活動を更に進化させてまいりたいと思います。

本「労福協ガイド」を通じて、すべての働く人たちに大分県労福協が展開する各種事業とその魅力についてご理解を賜れば幸甚です。

大分県労働者福祉協議会

所在地

〒870-0035

大分市中央町4丁目2番5号 ソレイユ 6F

TEL 097-533-1106

FAX 097-533-1174

設立

1960年2月

概況

2023年3月末現在

会員団体：1号会員から5号会員まで

地区労福協：県内に8労福協を設置

構成員：約46,000人

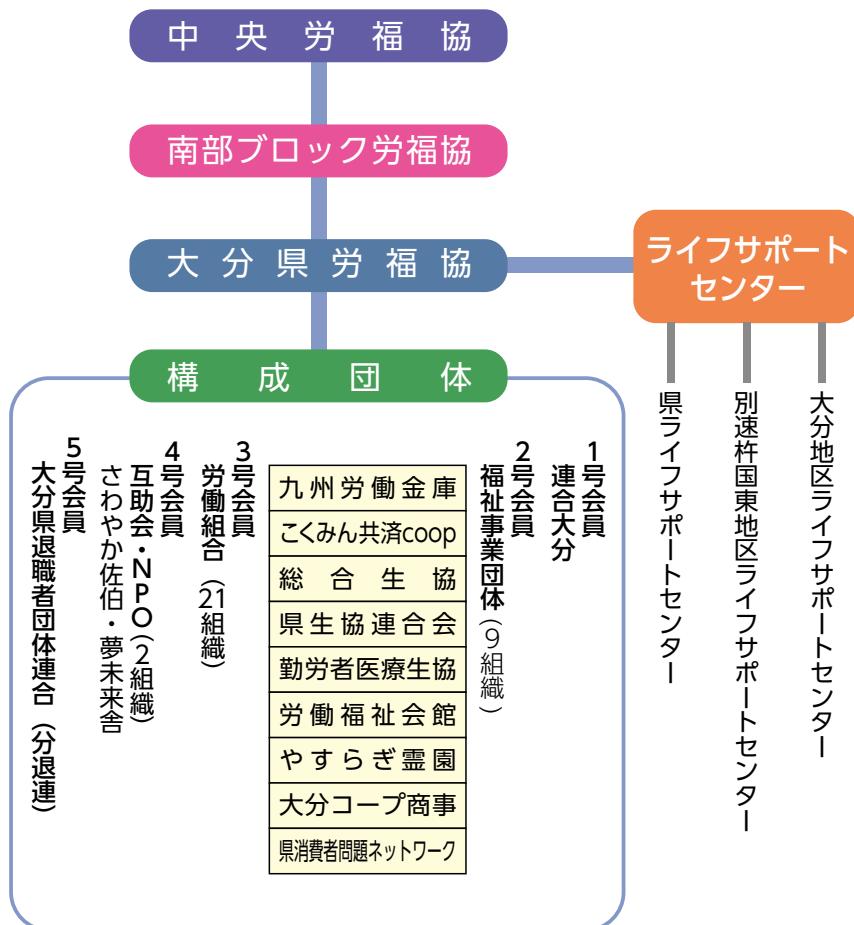
役員：理事25名（内常勤2名）、監事3名

労福協のシンボルマーク



このマークは『人』という漢字をデザイナ化したもので、簡潔で親しみやすさが重視され、中の輪は人と人の『和』を表している。

組織機構図



すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、 連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！

●大分県労福協の中期ビジョンと社会像

「連帯・協同で安心・共生、共助の福祉社会の創造」

- ◆人と人とのつながり・絆が大切にされる、ぬくもりのある社会
- ◆貧困や社会的排除を許さず、参加が保障される社会
- ◆労働を中心に様々な社会サービスをつなぐことのできる社会
- ◆人権侵害を排除し、環境にも優しい社会
- ◆勤労者・家族が、平和で豊かな暮らしを保障する社会

« 2030 年ビジョンに向けた運動の基調と将来像»

- ◆県民の共感を得られる社会運動の推進と行政への積極的な対応・政策提言
- ◆「地域に顔の見える運動」を推進し、様々なネットワークと連携する中、支え合い助け合うことのできる地域共生社会をつくります
- ◆労働組合と協同組合が連携・協同し、共助の輪を広げ、協同事業の社会的価値と力量を高めるとともに、すべての県民の暮らしをサポートします
- ◆労働者福祉運動を継承・維持するため、次世代の運動を担う人材の育成と財政基盤の確立に努めます

●大分県労福協の目的

当法人は、大分県内において勤労者福祉を増進するための事業を行い、勤労者の生活安定と経済的・社会的地位の向上に寄与するとともに、勤労者の消費生活に対する意識を高揚させ、勤労者の生活向上を図ることを目的とする。

(県労福協定款第3条)

●大分県労福協の事業

当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。(県労福協定款第4条)

- (1) 労働団体や勤労者福祉事業団体等による勤労者福祉活動の連絡調整及びその推進に関する事業
- (2) 地域における勤労者福祉活動の推進並びに地域コミュニティーの充実に関する事業
- (3) 社会保障や勤労者福祉等に関する調査・研究と啓発に関する事業
- (4) 国及び地方自治体の勤労者福祉施策等に関わる政策・制度の要求に関する事業
- (5) 勤労者の福祉の向上と消費生活に関する講演会及び研修会に関する事業
- (6) 勤労者の福祉の向上及び消費生活情報の提供に関する事業
- (7) 勤労者の消費生活等に関する相談事業
- (8) 勤労者の教育・文化・スポーツ・レクリエーション・ボランティア活動に関する事業
- (9) 外国諸団体と友好親善を深めるための国際交流に関する事業
- (10) その他、この法人の目的達成に必要な事業

◆会員組織・団体の事業紹介

◆労福協に集結する福祉事業団体と連合大分

日本労働組合総連合会 大分県連合会（連合大分）

連合大分は、ナショナル・センター（全国中央組織）「連合」の地方組織として、「働くことを軸とする安心社会」をめざし、全ての働く人々の雇用・労働条件の維持向上、医療・年金・教育・環境などくらしの安全・安心にかかる政策の提言、労働組合づくり、大規模自然災害時の復興支援など、様々な取り組みを行っています。

今、低所得・不安定な雇用形態で働くを得ない人、あるいは働く上での基本的なルールすら守られない環境で働くされている人が増え、格差の拡大や貧困、そして将来不安に直面しています。

こうした中で連合に求められている使命・役割は、わが国最大の労働者・生活者の集団として、世の中の不条理に立ち向かい、克服することです。私たちは社会の格差に歯止めをかけ、信頼と連帯感にあふれ、次代を担う子どもや若者が希望と安心の中で働き・暮らせる社会をつくるため運動を展開してまいります。

こくみん共済 coop 大分推進本部

こくみん共済 coop は保障の生協

こくみん共済 coop は正式名称を「全国労働者共済生活協同組合連合会」といい、消費生活協同組合法（生協法）にもとづき、厚生労働省の認可を受けて設立された、共済事業を行う協同組合です。

営利を目的としない協同組合

協同組合は、生活をより良くしたいと願う人びとが自主的に集まって事業を行い、その事業の利用を中心としながら、みんなで活動を進めていく、営利を目的としない組織です。協同組合に参加したい人は誰でも出資金を出して組合員になることができ、事業の利用や運営も、この組合員によって行われます。

こくみん共済 coop の理念

こくみん共済 coop では、将来にわたる最上位概念として理念を制定しています。

理念は「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」です。

私たちは、この理念を変えらぬ価値観とし、理念実現に向けた行動規範として信条を定め、事業を運営しています。

信条（理念実現に向けた役職員の行動規範）

「組合員のこくみん共済 coop」「正直なこくみん共済 coop」「努力のこくみん共済 coop」

大分県総合生活協同組合

大分県総合生協は 1960 年に創立し、1963 年に住宅事業、1968 年には旅行センターが発足し、営利を目的としない生協として、組合員の暮らしに「安心」と「ゆとり」をお届けしてまいりました。

住宅事業では、戸建てやマンション建設を含め 4,100 戸の住宅を建設し、現在は、別府市で「新別府分譲地」、中津市で「上如水分譲地」を販売しております。

また、外部注文住宅やリフォーム事業もおこなっており、みなさまのニーズに応じた「家づくり」をめざしています。

旅行事業では、団体旅行や会議・研修会等の手配を中心に、出張チケット手配や宿泊予約など多種多様な商品をご提供しております。

管理事業は、中央パーキング等の貸駐車場の運営をおこなっており、月極契約、時間貸のほか割安なプリペイドカードも販売しております。

また、賃貸アパートや賃貸マンションの運営もおこなっており、良質な物件の建設に努め、組合員へ安心できる住居を提供しております。

九州労働金庫大分県本部

ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼にこたえます。

一般社団法人 大分県労働福祉社会館

大分県労働福祉社会館は、1948 年に設立されてから労働者の経済的社会的文化的地位の向上を図ることを目的に会館運営をおこなっています。1998 年 11 月に連合大分傘下の労働組合の全面的な協力と大分県や大分市等の支援により、現在の中央町に「ソレイユ」が完成しました。

2003 年 6 月に建物を全労済に売却し、「ソレイユ」から「全労済ソレイユ」に名称変更をおこない、2012 年 6 月に「社団法人」から「一般社団法人」へ移行認可を受けて、「全労済ソレイユ」の管理・運営をおこなっています。

2019 年 6 月より「全労済プランディング戦略」にともない「全労済」から「こくみん共済 coop」に愛称変更されたことから、建物名称が「全労済ソレイユ」から「ソレイユ」に名称変更になりました。

「ソレイユ」では少人数 (16m²) から 250 名 (420m²) 程度まで収容可能な貸会議室が 14 室（洋室 10 室・和室 4 室）あり、会議・研修会・宴会・会食・パーティー・記念式典など様々な用途でご利用いただけます。

貸会議室にはインターネット環境を整備しリモート（ハイブリット形式）での会議利用も可能となっています。

また、初盆のかご盛・祝事・仏事での生花を年中無休で承っております。県内だけでなく全国に対応しています。

ソレイユの管理業務として建物の補修・改修工事の調整・管理、入居団体との折衝・管理や空室区画の入居募集活動をおこなっています。

大分県生活協同組合連合会（県生協連）

大分県生活協同組合連合会は、1955年11月に当時の臼杵生協、津久見生協、杵築生協で設立して、大分県知事の許可を得た消費生活協同組合法による生協法人として発足し、現在では、地域生協（生協ユープおおいた・日田市民生協・グリーンユープおおいた）と職域生協（学校生協・高校生協・大学生協・県職員生協・自治労信販生協・総合生協）と医療・福祉生協（勤労者医療生協・県医療生協・県福祉生協）の12生協が加盟し、その組合員総数は47万8千人であります。

県生協連は、「誰ひとり取り残さない、誰もが安心してくらし続けられる地域社会の実現」に向けて、全国の生協と一緒に「ユープSDGs行動宣言」7つの目標「持続可能な都市」「つくる責任、つかう責任」「健康・福祉」「貧困をなくそう」「平和」「エネルギー・気候変動」「ジェンダー（平等）」を取り組んでいます。

大分県勤労者医療生活協同組合

大分県勤労者医療生協は、1981年、労災・職業病や公害疾患の患者の多くが制度的に放置されていた時代に、県下の労働団体が中心となり、被災患者の救済と広く勤労者の「いのちと健康を」守る誓として設立され、大分協和病院と佐伯診療所を中心に医療と介護・福祉事業にも取り組んでいます。「じん肺」や「振動病」等の労災職業病やヒ素中毒など公害病の検査、治療、予防活動に取り組んできました。現在では、地域医療の実践とともにストレス社会の中で深刻なメンタルヘルス疾患、筋萎縮性側索硬化症（ALS）など難病医療にも取り組んでいます。また、産業医活動や職場健診の実施とともに、地域、労組などの健康学習会などにも取り組んでいます。

大分ユープ商事株式会社

大分ユープ商事株式会社は、総合生協住宅部を補完する会社として1983年（昭和58年）に設立されました。

その後、総合生協のマンション事業進出に伴い、マンション管理業務及びメンテナンス業務を始めました。現在は、次の事業を主として行っています。

- マンション管理業務及びメンテナンス業務
- 住宅に関する資材・機器・製品の販売業務
- 駐車場の管理業務
- 損害保険代理業務
- 建設業（一般）登録

公益財団法人 やすらぎ霊園

公益財団法人「やすらぎ霊園」は、1998年7月に連合大分に加盟する労働組合と総合生協からの寄付金によって設立され、2000年1月より販売を開始しました。そして、2011年6月には公益財団法人の認定を受け、永代に亘る安心・安全な管理体制を整えました。

「やすらぎ霊園」は、四季折々の表情を見せる自然豊かな場所で從来のお墓をはじめ、樹木墓・芝生墓・花のお墓・なごみ（コンパクトなお墓）・納骨堂・永代供養墓と多様なお墓を揃えた公園墓地です。現在、2,239区画のうち1,392区画が契約済み（62.2%）となっています。

NPO法人大分県勤労者安全衛生センター

1970年代前半までの高度経済成長の中で、新幹線や高速道路建設の工事現場を人的に支えていた出稼ぎ労働者の多くがじん肺や振動病などの労災・職業病に罹患していました。1977年、大分県労働組合評議会（県労評）は、未組織労働者の労災・職業病被災者救済のために「大分県労働安全衛生対策協議会」を結成し、じん肺や振動病などの被災者支援と救済活動を行いました。

この後、1981年に社団法人大分県勤労者安全衛生センターとして認可団体となりました。発足当時から大分県勤労者医療生活協同組合と協力関係を持ち、組織労働者のメンタルヘルス問題や職場環境改善など幅広い安全衛生活動に取り組んでいます。2014年9月から特定非営利活動法人（NPO法人）に移行して活動を続けています。

適格消費者団体・特定非営利活動法人 大分県消費者問題ネットワーク

大分県消費者問題ネットワークは、2008年1月に弁護士・司法書士・消費者団体が中心となって、消費者被害の防止・救済を目的に特定非営利活動法人の大分県知事の認証を受けて、大分市に消費者被害110番の相談事務所を設置し、消費生活専門相談員による消費者被害の相談に応じる活動や、講演会・出前講座を行ってきましたが、2012年2月に消費者被害の差止め請求を被害者に変わって行うことのできる適格消費者団体として九州では初めて、全国で10番目の認定を内閣総理大臣から受けました。更に、2018年2月28日付けで適格消費者団体の認定が更新され現在に至っています。

大分県退職者団体連合（分退連）

大分県退職者団体連合（分退連）は、1992年に「退職者・OBが安心して、平和で豊かな高齢者生活を実現するための諸活動を行う」ことを目的に結成されました。現在、13組織13,928名（第23回定期総会）の会員が、県下の4か所の地域協議会の中にある、8地区的地区退職者団体連合に所属し、各地域で高齢者のための学習会や研修会、会員相互の親睦を深めることを目的としたレクリエーション活動を行っています。

これからも現・退一致で、連合が取り組む「働くことを軸とした安心社会の実現」と退職者連合がめざす「社会保障制度を充実し安心して心豊かに暮らせる社会の実現」をめざし、様々な活動を行っていきます。

◆ 大分県労福協の活動内容

2010年4月に一般社団法人大分県労働者福祉協議会は法人格を取得し、大分県労福協運動の50年の歴史の踏襲を基本に、種々の活動の具体化に取り組んでいます。

具体的には、①構成組織との連携強化②行政に対する政策・制度要求③介護・子育て支援④社会貢献活動⑤暮らしの総合支援（ライフサポート）⑥人材育成・教育活動⑦各種研修会・スポーツ活動の実施⑧多重債務に対する対応⑨会員拡大⑩中小企業労働者福祉サービスセンターとの連携等の活動を中心に事業展開を行っております。

一般事業

◇対県要請（制度政策要求）

勤労者・県民の福祉と生活の向上に向け、勤労者からの声、福祉事業団体からの要望をまとめ、大分県へ提出しています。



(2022年11月11日)

◇情報紙「福祉ひろば」

情報紙「福祉ひろば」を隔月毎（奇数月）に発行し、県労福協活動状況及び各福祉事業団体等の活動報告・事業計画等を掲載しています。

◇福祉研修会

研修会を年1回開催しています。2022年度は講師に「ふくしまの今を語る人」講師団から柳内孝之氏（漁業関係者）を迎える、「大震災と原発事故による被災からの復興と現状及び地域の発展への関わり、小名浜魚市場や地場の漁業」について語っていただき、東日本大震災から11年7ヶ月が経過したふくしまの今を知ることができました。



(2022年10月30日)

◇リーダー育成研修会

労働団体・福祉事業団体の次期リーダーを担う方を対象にした研修会を開催。講師に中央労福協の南部美智代事務局長を迎え、「労福協これまでとこれから～つながる・寄りそう・支え合う～」と題して講演が行われ、参加した会員団体・地区労福協の役員、組合員、職員は熱心に耳を傾けていました。



(2022年12月10日)

◇スポーツ（レク）活動

会員を対象としたスポーツ大会（ボウリング）を実施しています。



(2021年3月6日)

公益福祉事業

◇ライフサポートセンター

●概要紹介

ライフサポートセンターは勤労者・市民・退職者が生涯にわたって充実した生活が送れるよう、各種の支援活動を行っていく組織として、連合大分・大分県労働者福祉協議会を中心に福祉事業団体が協力して設立したセンターです。現在、大分県内に2つの地区センター（大分地区・別速杵国東地区）と県センターを置き、地域の皆さんの様々な悩みについて電話と面談による初期相談を行っています。

《大分地区ライフサポートセンター》

〒870-0035 大分市中央町4-2-5
(ソレイユ6階)

☎097-538-3155

《別速杵国東地区ライフサポートセンター》

〒879-0904 別府市南荘園町1組
(別府地区労働福祉会館)

☎0977-26-3155

《県ライフサポートセンター》

〒870-0035 大分市中央町4-2-5
(ソレイユ6階)

☎097-538-3211

●利用時間

□月～金曜日の平日9時～17時

□消費生活専門相談員の常駐日

大分地区 木曜日 13時～16時

●相談料

無料(専門家に相談する場合は別途料金がかかる場合があります)



ライフサポートセンター
Life Support Center まごの暮らしサポートセンター



県ライフサポートセンター
☎097-538-3211
9:00～5:00

◇文化講演会

2022年度文化講演会を開催しました。今回は、講師に姜尚中氏（政治学者・東京大学名誉教授）を招き、「悩む力」と題して講演を行いました。



◇文化教室

これまで、懐かしのシネマを16mmフィルムで無料上映しています。

◇食と文化・健康教室（ウォーキング）

大分県労福協と地区労福協合同で、地域の食と文化、史跡探訪、健康増進を目的に開催しています。

2022年度は、会員団体、地区労福協、一般市民など190名が参加し豊後高田市「昭和の町周辺」を散策しました。



(2022年11月19日)

◆地区労福協の活動紹介

労福協活動の中心のひとつは、地域・地区であり、顔の見える地区労福協運動を展開中です！

地区労福協は、県内に8つ設置しており、勤労者のための自主福祉運動をはじめ、種々事業活動が自立的に展開されています。

◆中津地区労福協

所在地

〒871-0054 中津市京町 1524 番地
新博多町交流センター
☎ 0979-25-3355 FAX 0979-25-3469

《活動内容》

- みかん狩り
- ボウリング大会
- 中津・宇佐高田地区合同役員研修
- 福祉研修会



みかん狩り



福祉研修会

◆宇佐高田地区労福協

所在地

〒879-0455 宇佐市大字閣 437-1
☎ 0978-33-5055 FAX 0978-33-5075

《活動内容》

- ウォーキング大会
- ボランティア（宇佐市障がい者スパレク大会）
- 中津・宇佐高田地区合同役員研修



障がい者スパレク大会



ウォーキング大会

◆臼杵地区労福協

所在地

〒875-0041 臼杵市大字洲崎81-1
☎ 0972-63-7855 FAX 0972-63-7879

《活動内容》

- 学習会（地区会員対象）
- レクリエーション（日帰り旅行）
- ミニバーボール大会
- 囲碁ボール大会



囲碁ボール大会



レクリエーション（ツーリング）

◆日田玖珠労福協

所在地

〒877-0025 日田市田島2丁目4番1号
オフィスサカエ2階202号室
☎ 0973-22-0505 FAX 0973-22-0505

《活動内容》

- 地区メーテー協賛
- ボウリング大会
- 学習会
- 福祉研修会



ボウリング大会



福祉研修会

◆別府国東地区労福協

所在地

〒879-0904 別府市南莊園1組
別府地区労働福祉会館
☎ 0977-21-7155 FAX 0977-21-7505

《活動内容》

<公益事業>

- 地区会員・一般労働者学習会
- 地区メーデー協賛
- 文化講演会、健康講座
- ライフサポートセンター事業
- <会員向け事業>
- 春・夏休み向け格安チケットの斡旋
- 家族参加型（リフレッシュデー）
- 学習会
- 地区会員交流事業（ボウリング）



リフレッシュデー



ボウリング大会

◆佐伯地区労福協

所在地

〒876-0841 佐伯市来島町6-5
☎ 0972-22-3755 FAX 0972-22-5515

《活動内容》

- トリニータ応援バスツアー3回
- 朗読劇「月光の夏」（文化体験）
- プロ野球観戦ツアー
- 「ストレスチェック制度講演会」
(文化講演会)
- 職域対抗ミニバーレーボール大会
- 親睦ゴルフコンペ



福祉研修会



親睦ゴルフコンペ

◆豊肥地区労福協

所在地

〒875-0041 白杵市大字洲崎81-1
☎ 0972-63-7855 FAX 0972-63-7879

《活動内容》

- ウォークラリー
- ボランティア活動
- ボウリング大会
- ミニバーレーボール大会
- フラワーセラピー
- 福祉研修会



福祉研修会



ミニバーレーボール大会

◆大分地区労福協

所在地

〒870-0035 大分市中央町4-2-5
ソレイユ6階
☎ 097-533-5655 FAX 097-533-5658

《活動内容》

- ミニバーレーボール大会
- ボウリング大会
- 家族リフレッシュデー
- 地区ライフサポートセンター事業
(各種相談事業の実施)



家族リフレッシュデー



ボウリング大会

◆労福協のあゆみ紹介

中央労福協関係

1949年	労務者用物資対策中央連絡協議会（中央物体協）が結成
1950年	中央物体協を「福祉対策中央協議会」と改め、単産および単産の上位組織の枠を超えて、広く労働者福祉活動の前進をはかる組織とした
1964年	「労働者福祉中央協議会」（中央労福協）と改称し、労働組合と協同事業団体が統一した組織体として今日に至る

大分県労福協関係

1958年	大分県労働者福祉協議会：結成準備会発足
1960年	大分県労働者福祉協議会結成
1969年	労働者福祉大分県集会を開催（1980年代後半から「福祉研修会」改称）
1970年	政策・制度要請書：木下知事に提出
1972年	大分県労福協第1回体育祭を開催
1973年	大分県勤労者創作美術展（労美展）第17回より主催者団体（県・労政協会と共に）
1976年	自主福祉運動の強化中期路線を福祉大分県集会に提案
1985年	大分県労福協第1回定期総会開催（代議員制の総会方式に移行開始）
1995年	大分県労福協第10回定期総会開催（総会終了後、大分県労福協結成35周年記念式典・祝賀会を開催）
1996年	大分県と「仕事と家庭の両立推進対策事業」の委託契約書を締結（ファミリーサポートセンター設立に向けた準備開始）
2000年	大分県労福協第15回定期総会開催（総会終了後、大分県労福協結成40周年記念式典・祝賀会を開催） <「大分県労福協結成40周年記念誌：あゆみ発行」「記念海外視察：福祉の旅・16名がスペイン・モンドラゴン生活協同組合へ」>
2001年	大分県労福協結成40周年記念スポーツ大会（種目：ミニバレー・ボーラー） 大分県労福協先進地視察：茨城県日立市（ファミリーサポートセンター） 大分県労福協先進地視察：新潟県上越市（ファミリーサポートセンター）
2002年	大分ファミリーサポートセンター事業開始
2003年	大分県労福協先進地視察：長野県上田市（ファミリーサポートセンター）
2004年	大分県労福協先進地視察：栃木県栃木市（ファミリーサポートセンター）
2005年	別府ファミリーサポートセンター事業開始
2006年	大分地区ライフサポートセンター：設立検討委員会・作業部会を設置
2007年	大分県労福協先進地視察：連合山口（ライフサポートセンター） 大分地区ライフサポートセンター開設（全労済ソレイユ：消費者被害110番を併設）
2008年	別府杵国東地区ライフサポートセンター：設立検討委員会を設置 別府杵国東地区ライフサポートセンター開設（別府地区労働福祉会館：消費者被害110番を併設）>
2009年	大分県勤労者創作美術展（労美展）を廃止（第52回で終了：3月） 大分県労福協第24回定期総会開催（大分県労福協公益法人化：作業開始を決定）

2010 年	<p>大分県労福協結成 50 周年記念スポーツ大会（種目：ボウリング）</p> <p>大分県労福協結成 50 周年記念式典・祝賀会を開催「3月 13 日」</p> <p>大分県労福協結成 50 周年記念誌：あゆみ発行</p> <p>大分県労福協結成 50 周年記念文化講演会（大爆笑寄席、連合大分・県民共済会との共催）</p> <p>大分県労福協「一般社団法人大分県労働者福祉協議会」新組織設立総会（旧大分県労福協解散）</p> <p>大分県労福協「一般社団法人大分県労働者福祉協議会」大分地方法務局法人格取得登記申請</p> <p>2010 年 6 月より、新たに公益福祉事業として、文化講演会、文化教室等を実施</p>
2011 年	<p>大分県労福協第 3 回定期総会開催（組織の充実・強化と地区労福協の活動の活性化を決定）</p> <p>「連合大分第 10 次友好訪中団」派遣（9月 6 日～10 日）</p>
2012 年	<p>大分県労福協第 4 回定期総会開催（会員・会費見直しを決定）</p> <p>2012 年国際協同組合年（大分県記念集会 9 月 12 日開催）</p>
2013 年	中期ビジョン策定委員会設置（大分版 労福協将来像）
2014 年	<p>大分県労福協第 6 回定期総会開催（大分県労福協中期ビジョンを決定）</p> <p>勤労者研修会（全労済大分県本部と共に、3.11 東日本大震災を教訓にして忘れないために日頃の災害・防災に役立つ研修会を 2 月 23 日開催、講師に新日鐵住金釜石労働組合・組合長 三浦一泰氏（演題：東日本大震災を経験して、今、伝えたいこと）、危機管理教育研究所・代表 国崎信江氏（演題：東日本大震災から学ぶ防災対策）</p> <p>「第一次 3.11 東日本大震災被災地視察（福島県）」を理事・監事 10 名が参加</p>
2015 年	<p>大分県労福協第 7 回定期総会開催</p> <p>福祉研修会（「貧困ビジネス化した奨学金 苦悩する若者たち」と題して研修会を 8 月 22 日開催）</p> <p>労働団体・事業団体連携行動委員会（産別・労組訪問を行い、「労働者自主福祉運動」の推進に向けた運動方針化、組合員・組合役員を対象とした研修会の開催、労働者自主福祉運動に関するカリキュラムの導入の依頼）</p> <p>「第二次 3.11 東日本大震災被災地視察（福島県）」を理事・監事 9 名が参加</p>
 <p>福島市・JA新ふくしま（モニタリングセンター）の農産物放射性物質検査場</p>  <p>浪江町請戸地区に設置されている慰靈碑</p>	
2016 年	<p>勤労者研修会（「聴いてよ子どもの声を」と題して研修会を 2 月 14 日開催）</p> <p>食と文化・健康教室（5 回目となるウォーキングを日出町・日出城址界隈で 2 月 21 日開催）</p> <p>大分県労福協第 8 回定期総会開催</p> <p>福祉研修会（「奨学金問題の現状と課題」と題して研修会を 9 月 4 日開催）</p>

2017年	<p>県労福協第9回定期総会開催 2017年3月31日給付型奨学金制度を創設する「日本学生支援機構法改正法」が全会一致で可決・成立し、給付型奨学金制度が創設された 『福祉研修会』9月23日開催 講師：熊本県知事公室 危機管理防災課 有浦 隆 氏 『文化講演会』11月3日開催 講師：教育評論家 水谷 修 氏 『勤労者研修会』2018年3月10日開催 公演者：NPO法人「抱樸」理事長 奥田智志氏と「生笑一座」</p>
2018年	<p>県労福協第10回定期総会開催 九州労金大分県本部と連携を図り、2018年4月から開始した「奨学金借換専用ローン<つなぐ>」の取り組みを進めるため、「家計の健康診断奨学金借換ハンドブック」を作成し、労働団体と連携し取り組みを進める 『福祉研修会』9月30日開催 講師：「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業のメンバー福島県の現状と課題について 「第五次3.11東日本大震災被災地視察」：(福島県)」を理事・監事9名が参加 『文化講演会』11月3日開催 講師：科学者・中部大学教授 武田 邦彦 氏</p> 
2019年	<p>県労福協第11回定期総会開催 全労済（正式名称：全国労働者共済生活協同組合連合会）は 「これからももっと多くの方々に親しんでいただき、 愛される存在となる」ため、 愛称「こくみん共済 coop」を2019年6月から使用となる</p>  <p>『文化講演会』11月3日開催 講師：内村周子 氏（体操、内村航平 母親）</p> 

	<p>県労福協第 12 回定期総会（新型コロナウイルス感染拡大防止により書面決議及び書面報告）</p> <p>大分県労福協結成 60 周年の節目の年（1960 年 2 月 1 日「大分県労働者福祉協議会」が結成） 大分県労福協結成 60 周年記念事業（2 月 15 日開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念講演 講師：賀川豊彦記念館松沢資料館館長 金井新二 氏 ・結成 60 周年記念レセプション・結成 60 周年記念誌の発行  
2020 年	  <p>2020 年以降の新ビジョン「大分県労福協 2030 ビジョン」決定 『文化講演会』11 月 1 日開催 講師：信州大学特任教授・国際弁護士 山口真由 氏</p>  
2021 年	<p>県労福協第 13 回定期総会開催 『文化講演会』11 月 7 日開催 講師：タレント・歌手 堀ちえみ 氏 『リーダー育成研修会』12 月 18 日開催 講師：(株)クリフ代表 石山純恵 氏</p>  

県労福協第14回定期総会開催

『福祉研修会』10月30日開催

○講師：「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業のメンバー福島県の現状と課題について

○講師：産業医科大学教授 櫻田尚樹 氏



『文化講演会』11月6日開催 講師：政治学者・東京大学名誉教授 姜尚中 氏 カンサンジュン



2022年

労福協のマスコットキャラクターができました!!

きょうちゃんです！ぜひ覚えてくださいね！



〔肩書〕 労福協のマスコットキャラクター

〔お名前〕 きょうちゃん

〔誕生日〕 11月26日

〔属性〕 イルカ

〔性格〕 仲間とコミュニケーションをかわし、
チームワークが良く、人と関わること
が好き♡

一般社団法人大分県労働者福祉協議会「組織構成図」

(2023年5月29日現在)

中央労福協
南部労福協
大労県労福協

労働団体(1号会員) — 1組織・連合大分

福祉事業団体(2号会員) — 9組織

労福協事務局

大分市中央町4丁目2番5号
ソレイユ6階
TEL 097-533-1106
FAX 097-533-1174

個別団体	事業内容	根拠法令
------	------	------

九州労働金庫大分県本部	金融	労金法(特別法人)
-------------	----	-----------

こくみん共済coop	共済	生協法(生協法人)
------------	----	-----------

大分県総合生協	住宅・旅行	生協法(生協法人)
---------	-------	-----------

労働福祉会館	貸会場・宴会・テナント	民法(社団法人)
--------	-------------	----------

やすらぎ霊園	霊園事業	民法(社団法人)
--------	------	----------

大分県生協連(グループ連携)		生協法(生協法人)
----------------	--	-----------

地域生協(3)	物資供給	生協法(生協法人)
職域生協(6)	//	//
医療生協(2)	医療	//
福祉生協(1)	福祉	//

大分県勤労者医療生協	医療・介護	生協法(生協法人)
------------	-------	-----------

大分県消費者問題ネットワーク	消費・生活	特定非営利活動促進法(NPO法人)
----------------	-------	-------------------

大分コープ商事	マンション管理・メンテ・会館管理事業	商法(株式会社)
---------	--------------------	----------

主要産別・単組(3号会員) — 21組織

NPO・互助会組織(4号会員) — 2組織

大分県分退連(5号会員) — 1組織

「大分県労福協」とは、

勤労者福祉を増進するための事業を行うことを目的とした組織。

「労福協事業」とは、

調査・研究・啓発、政策・制度要求の実現、講演会・研修会、教育・文化・スポーツ・レクリエーション・ボランティア等に関する事業。

ひろく、共感を呼ぶ・福祉運動の実現をどれだけできるかが大切。

労福協運動は、そこから始まる。

大分県の

県木・県花



ブンゴウメ

県鳥



メジロ



一般社団法人 大分県労働者福祉協議会

〒870-0035 大分市中央町4丁目2番5号 ソレイユ6階

☎097-533-1106 FAX097-533-1174

ホームページ

<http://oita.rofuku.net/>

